

肺炎球菌とは、**重症な肺炎を引き起こす原因として最も多い細菌**です。

特にご高齢の方や基礎疾患を有する患者様では、**肺炎だけでなく敗血症や髄膜炎を引き起こし**、重症化すると、呼吸困難や高熱、全身のだるさなどの症状が現れ、もちろん場合によっては**命にかかわる**こともあります。

肺炎球菌は抗生剤治療もありますが、重要なのは予防です。

肺炎球菌ワクチンを打つと、肺炎球菌感染症になりにくくなるほか、肺炎球菌感染症になったとしても重症になりにくくなります。

肺炎球菌感染症は、特に下記のリスクが高い人は重症化しやすいとされています。

- ・**高齢者** ・**幼児**
- ・**免疫力が低下している人(糖尿病、悪性腫瘍、免疫抑制剤、ステロイド治療中など)**
- ・**慢性疾患をもっている(慢性心疾患、慢性肺疾患、慢性腎臓病など)**

米国 CDC は 65 歳以上の全ての成人、肺炎球菌ワクチンを未接種あるいは接種歴が不明で 19～64 歳の慢性疾病のある成人に対して バクニュバンスとニューモバックスの連続接種を推奨しています。

< **ニューモバックス(PPSV23)** >

実は、肺炎球菌は 90 種類以上の種類があるのですが、ニューモバックスはそのうち 23 種類の肺炎球菌に対し効果を持ちます。

この 23 種類で、成人の重症肺炎を引き起こす肺炎球菌の 64% を占めており、**成人での予防効果が確立**されております。

したがって、**成人の定期接種は、ニューモバックスでの接種**となります。

< **プレバナー(PCV20)** >

プレバナーは、**20 種類**の肺炎球菌に対し効果を持ちます。

米国ではニューモバックスとの併用も推奨されており、**1回接種で一生効果があるという研究結果もあります。**

< バクニューバンス(PCV15) >

バクニューバンスは、**15種類**の肺炎球菌に対し効果を持ちます。

2022年9月に日本で承認された新しい肺炎球菌ワクチンとなります。

プレベナー同様、成人の定期接種の対象とはなっておりませんが、免疫学的にプレベナーよりも効果が高いとする報告から**「肺炎には絶対にかかりたくない」という成人の方は、ニューモバックスとバクニューバンスの両者を接種することも可能**ですので、ご相談下さい。

< 2回目の接種について >

肺炎球菌ワクチンは、初回接種から5～7年経過すると効果が大きく減る(抗体価が下がる)ことが報告されている為、5年後に2回目の接種が推奨されております。

5年後に再接種をすることで、より長期に効果を持続させることが期待できますので、既に初回接種済の患者様も5年以上経過していらっしゃったら、一度ご相談下さい。

料金

- ・ニューモバックス 7,700円(税込)
- ・バクニューバンス 10,000円(税込)
- ・プレベナー20 10,000円(税込)